

緩和ケア相談外来のご案内

「あなたに笑顔がもどりますように」



「緩和ケア」とは

病気にともなう心と体の苦痛を和らげ、その方らしい生活を送れるように支えるためのケアです。

がんの終末期が対象だと誤解されていることがまだ多いですが、本来は、命にかかわるような疾患と診断されたその日から、患者さんやご家族が抱える様々な悩みに応じて提供されるものです。

どんな治療、どんな生活を望まれるのか、イメージやご希望を遠慮なくお伝えください。



緩和ケア相談外来の目標

- ☆ 手術、化学療法、放射線療法など積極的ながん治療中の方も、気になる症状（痛み、息苦しさ、だるさ、むくみ、食欲不振、口内炎など）があれば並行して診察していきます。
- ☆ 診断・治療についての不安や迷いがある方、つらい検査や治療は受けたくないと思っておられる方にも、お気持ちをよく聴きながら、その方らしい選択を支えていきます。
- ☆ ご家族の心情や、介護の負担についても重要な課題と考え、お話をうかがっていきます。
- ☆ 緩和ケア病棟はありませんが、体調を整えるためやご家族の介護負担軽減のために、緩和ケア目的での入院ができます。



052-991-3111（病院代表） またはお近くの職員まで

「緩和ケアの相談を希望」とお伝えください。

予約日時に関わらず、必要に応じて対応します。

緩和ケアチームのメンバー



緩和治療
を担当する医師

おかじま あきこ
岡島 明子

緩和ケア外科部長
緩和医療学会認定医

主治医の先生と連携をとりながら、緩和治療を行います。
平日9時～17時で、入院・外来の患者さんの診療にあたっております。
それ以外の時間帯、夜間休日にも電話などで随時対応していますので、何かありましたらまずは病棟看護師までご相談ください。



緩和ケアチーム
専任看護師

ふくだ ゆり
福田 有梨

緩和ケア認定看護師
教育課程修了生
特定看護師

患者さんとそのご家族が身体とこころのつらさが緩和されるよう、医師、病棟・外来看護師、薬剤師、栄養士、リハビリやソーシャルワーカーと協働しながら支援していきます。
がんに限らず、どのような疾患の方でも緩和ケアを受けることができるように努めていますので、ご相談ください。



病棟師長

さとう しんじ
佐藤 真嗣

がん性疼痛看護
認定看護師

痛みと聞くと普通は身体の痛みだと思いますよね。もちろん、私たちは身体の痛みが取れるように努力させていただきます。しかし、身体だけでない、心のつらさや経済的な問題、そして病気に直面する苦しさなど、それらも全て痛みだと思います。患者さんだけでなく、ご家族も気がかりのことがあればお気軽にご相談ください。



緩和ケアチームの心理・
メンタルケア担当

しみず さとこ
清水 智子

臨床心理士・公認心理師

お気持ちに寄り添う心の専門家です。病気のこと、人生のこと、ご家族のことなど、どのような内容でも静かに耳を傾けお話を聞かせていただきます。
毎週 水曜日 14時ごろ～病棟回診（一部）を行います。
面談希望のある方はお申し出ください。ご家族の方も別にお話を伺うこともできますのでぜひご相談ください。



HPはこちら